

令和4年度 第1回 安曇野市水環境審議会 会議概要

1	審議会名	令和4年度 第1回 安曇野市水環境審議会
2	日 時	令和4年4月27日 午後2時00分から午後3時45分まで
3	会 場	安曇野市役所 本庁舎4階 大会議室
4	出席者	遠藤委員(会長)、村上委員(副会長)、中屋委員、丸山委員、増田委員、武井委員、相馬委員、山地委員、岡江委員、高原委員、宮澤委員、五十嵐委員、平林委員、池田委員、崎元委員
5	市側出席者	山田市民生活部長、山口環境課長、百瀬環境課長補佐、藤原環境政策担当主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	令和4年4月28日

協 議 事 項 等

次第

■委嘱書交付

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 令和3年度事業実績について
- 4 協議事項
 - (1) 令和4年度事業計画について
- 5 その他
- 6 閉会

会議概要

- 1 報告事項
 - (1) 令和3年度事業実績について

【事務局から資料1、別紙2、別紙3、別紙4及び別紙5に基づき、令和3年度の実績等について説明】

 - ・別紙3の年間揚水量の値について、あくまでも揚水量のことで、河川に戻した量については考慮されていないということによいか。

⇒戻した量は考慮されていない。

 - ・資料1の説明の中で、節水等の取組を行っている企業への訪問を開始したという部分があったが、目的を教えてください。

⇒企業等から市に提出される地下水採取量報告書の中の下段の部分に、節水や涵養の取組を行っているかどうか記入いただく箇所がある。令和3年度に企業等から提出いただいた報告書において、節水や涵養の取組があると記入いただいている場合に、具体的にどういった内容なのかを令和4年度に実際に確認を行い、その結果をまとめ、節水や涵養に取り組む団体間で共有できる形にしていきたいと考えている。

 - ・大企業から中小企業まですべてを訪問するのか。

⇒大企業、中小企業を問わず、地下水採取量報告書の中で節水又は涵養の取組があると記

入されている企業はすべて訪問することを計画している。

- ・別紙3の説明の中で、三川合流部におけるわさび栽培への影響を及ぼさない値である閾値4,300万 m^3 /年に関する話、そして令和2年度の揚水量は約3,642万 m^3 /年であり、閾値には達していない旨の話があったが、冬場の水位が下がる時期に揚水を控えることによってわさび田の減水を抑制できる可能性もあるので、閾値の4,300万 m^3 /年を下回っているからよいという問題ではなく、そういった視点も考慮してもらいたい。
- ・別紙2の水収支の評価について、経年変化をどのように見ればよいか。

⇒水収支バランスの均衡値は上昇することが理想。ただ、この均衡値は降水量に大きく依存している。降水量次第である面は大きいですが、節水の取組を推進するとともに、地下水揚水量も抑制することが求められる。

2 協議事項

(1) 令和4年度事業計画について

【事務局から資料2及び別紙6に基づき、令和4年度の事業計画等について説明】

【意見等は特になし】

3 その他

【事務局から、次回審議会の開催予定月等について説明】

<終了 15:45>

以上